

ピックアップ

グリーン・ツーリズムで 地域の魅力を伝える人々

～秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会～

- 市民と企業、つながる支援(東光鉄工株式会社)
- NPOよろず支援員の紹介
- 震災を考える「できることから始めよう」
支援活動②ボランティア(地元編)
- 情報あらかると
- 憩うところ & イベントカレンダー

くんだな

6
2011



私たちにできること

「だまごを作り被災地へ」

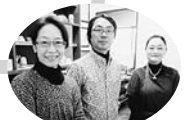
能代北高の同窓会「松蔭会鷹巣支部」(小林晋子会長)では、被災地に温かいだまご鍋を届けようと、市民に呼びかけたところ、北秋田市中央公民館で行われた鍋の下ごしらえに市民約70人が参加しました。

準備された600食分のだまこのほか、提供された支援物資は、会員等30人により4月17日岩手県田野畑村へ届けられました。移動に使用した大型バスは、あきた北観光バス株式会社より無償で貸し出されたものです。被災地で炊き出しを行った事務局の村岡典子さんは、「避難所には500人以上が避難していて、その人たちの食事の準備などを7～8人の職員で行っていた。裏方で支える人たちにも休息をとってほしい。」との思いから、7月に炊き出しと子どもたちとの交流を考えています。





グリーン・ツーリズムで 地元の魅力を伝える人々



グリーン・ツーリズムは、農山漁村を訪れ、その地域ならではの食や自然などを楽しみ、土地の人々と交流を行うことです。農山漁村活性化の一つの手段としても注目されています。

秋田県には、地元の魅力を多くの人に伝えたいと農家民宿や農家レストラン、農業体験の受け入れなどに取り組んでいる皆さんがたくさんいます。今回は、グリーン・ツーリズムの普及を図っている「秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会」(会長／門脇光浩仙北市長、会員数128人)のご協力により、県北地区で取り組んでいる皆さんをご紹介します。

大館・北秋田地区

①陽気な母さんの店 (産直・体験)

新鮮野菜・果物のほか、豊富な加工品と弁当も魅力。食堂では地場産そばやほうれんそうラーメン、リンゴスイーツも味わえる！！

【住所】大館市曲田家ノ後97-1 【電話】0186-52-3800



← ほっと駅かたるべの日替り定食。これで600円！

②阿仁の森ぶなホテル (宿泊・体験)

森吉山の懐に位置する宿。山菜や熊肉料理など田舎料理が食べられるほか、新緑、紅葉など森吉山の散策もおすすめ。

【住所】北秋田市阿仁鍵ノ滝206 【電話】0186-82-2400



↓陽気な母さんの店のきいたんほ作り体験。

③リゾートホテル フッシュ (宿泊・体験)

阿仁スキー場のすぐ下。海外暮らし経験のあるオーナーの多国籍料理が自慢。パン作り体験も人気！！ランチだけでもOK。

【住所】北秋田市阿仁鍵ノ滝206-12 【電話】0186-82-3155

④ほっと駅かたるべ (食事)

「昔ながらの農家の食事」が味わえる日替り定食(600円)は、味もボリュームも満足の一言！ふるさとのお母さんの味に出会える。

【住所】北秋田市川井宇鳥屋沢34-1 【電話】0186-78-2484

⑤やまぶん (食事)

食用ほおずき農家が営むカフェ。ほおずきの旬の時期には店頭販売も。ほおずきタルトのほか、南米のパイ「エンパナーダ」もぜひ！！

【住所】上小阿仁村沖田面宇屋布12 【電話】0186-77-2219



やまぶんのほおずきタルト→

鹿角地区

中滝ふるさと学舎周辺。
これからは新緑の中でノスタルジックに過ごす一日も。↓



あんたらあ直売所の女性たちです。→



⑥中滝ふるさと学舎 (体験・食事・宿泊)

廃校になった旧中滝小学校舎を改修した施設。森林セラピーや滝めぐり、ピザ作りや木工体験が人気。八幡平ポーク、鹿角牛など地場食材を使ったカフェはプロの味。自炊式の宿泊ケビンもある。

【住所】鹿角市十和田大湯宇白沢45-1 【電話】0186-30-4021

⑦あんたらあ直売所 (産直)

道の駅かつの・あんたらあ内にある。特産の秋田蒟や松館絞り大根をはじめとする新鮮野菜の他、北限のモモや鹿角リンゴなど果物が豊富なのも魅力。餅、漬物などの加工品も多数。

【住所】鹿角市花輪新田町11-4 【電話】0186-23-3010

⑧ねぎっこ村 (産直・体験)

その名の通り、特産の白神ねぎが豊富に揃う。交流のある岩手県気仙沼から届く海藻や魚などの水産加工品も人気！！

【住所】能代市河戸川字北西山189 【電話】0185-52-6200

⑨星場台 (宿泊・体験)

古民家を改装し、どぶろくも楽しめる宿。そば打ちやきりたんぼ作り体験ができる。山に囲まれた静かなロケーションに心が和む。

【住所】能代市松山字星場台108 【電話】0185-58-4588

⑩やまもと百姓大学 (体験)

三種町の食、技の達人たちが“教授”を務め、教えてくれる。夏のじゅんさい摘み体験が人気。冬の干し餅作り体験もおすすめ。

【住所】三種町豊岡金田字森沢1-2 【電話】0185-83-2111

⑪夕映の館 (宿泊・体験)

宿泊だけでなく、そば打ち体験をして夕食にするのがおすすめ。シンプルで味わい深いそばに、どぶろくと地酒が進む。

【住所】八峰町八森字本館51-3 【電話】0185-77-2669

能代山本地区



⑫観海荘 (宿泊・体験)

日本海に沈む夕日を眺めて、新鮮な刺身や海産物が並ぶ食事を堪能。おばあちゃんが育てた無農薬野菜もおいしい。

【住所】八峰町八森字下嘉治助台4-1
【電話】0185-77-3038

⑭しらかみカフェ (食事)

ナシ・ブドウ農家が営むカフェ。自家栽培の洋ナシを使ったタルトなど、スイーツもおいしい。窓越しに白神山地を眺めて、ゆったりとした時間に心も癒される。

【住所】八峰町峰浜水沢字家の下谷地38-4
【電話】0185-76-3715

⑯白神 森のかぞく (宿泊・体験・旅行社)

白神山地のトレッキングが人気。食事はマクロビオテックで心にも身体にも健康的。着地型の旅行社でもある。

【住所】藤里町藤琴田中107-5 【電話】0185-79-2282

⑰白神の恵体験工房 (体験)

地元産の大豆を使った、豆腐と味噌作りを体験。もちろん持ち帰りOK。小中学校への出張体験も随時受付中。

【住所】藤里町粕毛字清水岳7-1 【電話】0185-79-1540

⑱白神ぶなっこ教室 (宿泊・体験)

白神山地を知り尽くしたスタッフが、四季折々の里山遊びを伝授する。年3回の“学校”は子どもにも大人にも人気。

【住所】藤里町藤琴字上坊中86
【電話】0185-79-3130または03-3207-7727 (東京連絡先)

↓夕映の館の
稲刈り体験。



↓やまもと百姓大学の
じゅんさいの摘み取り体験。



⑬漁火の館 (宿泊・体験)

食事は地元の漁師料理。釣りを体験したら、釣果を自ら調理して食べてもいいかも。自炊式で、集会や宿泊所としても利用。

【住所】八峰町八森字岩館向台121
【電話】0185-78-2417

⑮サフォーク白神 (食事)

食用羊種・サフォークのホゲット肉が味わえる珍しいレストラン。焼き肉定食は予約制。イチョウ並木が美しい素波里園地内にあり、スポーツや散策もおすすめ。

【住所】藤里町粕毛字南鹿瀬内38-1
【電話】0185-79-1571



←しらかみカフェの洋ナシタルト
ポークカレーランチ。→



秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会では、県内で農家民宿や農家レストランなど、グリーン・ツーリズムを取り入れた起業をしたい方のための講座「グリーン・ツーリズム花まるっ大学」を開講しています。相談員による個別指導も随時受け付けていますので、グリーン・ツーリズムに興味のある方は、直接協議会事務局へご連絡ください。

【秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会】

秋田市上北手荒巻字塚切2 4-2

電話/FAX 018-829-5895

HP「美の国秋田・桃源郷をゆく」<http://www.akita-gt.org>

ブログ「秋田花まるっ元気通信」<http://www.akita-gt.org/blog>

市民の声

市民が、土砂で埋もれた被災地の映像を見て思いました。雪国には欠かせないスノーダンプ。冬以外は忘れられています。そんなスノーダンプに「車輪を付ければ重いものを運べるのでは」と考えたのです。

地元企業が 実用化

市民のアイディアに共感した地元企業の東光鉄工株式会社の会長。すぐに、スノーダンプの下にキャスターを2個溶接した試作品を完成させました。一輪車に比べてバランスが良く、簡単に荷物を運べます。



震災復興支援

市民と企業 つながる支援

東光鉄工株式会社
(大館市)

市民がスノーダンプ提供 職能短大生が製作協力

同社が新聞等で鉄製スノーダンプの提供を呼びかけたところ、多くの市民から提供されました。製作には同社が、普段からものづくり活動を通じて交流している秋田職業能力開発短期大学校に依頼し、同社社員が溶接技術指導を行いながら改造型ダンプ「楽々ダンプ」を製作しました。

「楽々ダンプ」は宮城県山元町、福島県いわき市、岩手県大槌町などに合計45台(5月16日現在)が届けられました。

ダンプ 被災地で活用

5月13日(金)、大館市の市民有志が「震災ボランティアパーティー」を実施しました。現地でボランティア活動をしたいという人たちを募集し、参加費をバス代、保険料、昼食代にあてる方法です。集まったのは44名で、同社社員も参加。支援先となった岩手県宮古市にダンプを持参し活動しました。

宮古市で ボランティア活動

同社社員の石田敬子さんは、何かお手伝いしたいとの思いから現地でのボランティア活動に自主参加しました。現地での作業は側溝の泥上げで、ダンプの実用性を確認する機会にもなりました。ダンプは作業を共にした人たちに「楽に使える。」「これはいいものだ。」と活用され大好評でした。持参したダンプ3台は、そのまま宮古市社会福祉協議会へ寄贈。

石田さんは今回参加して、被災者から現地で直接聞いた震災のお墓ごに悲愴な思いだったことや、現在の被災者の様子に勇気づけられたこと、ボランティア活動と一緒に参加した人たちが助け合いの精神で協力しながら作業ができたことなど、貴重な経験となったと話してくれました。そして、「まだまだやらなければならないことがあるので、また参加したい。」と石田さんは継続的な支援の必要があると考えています。



NPO等の情報発信

コミュニティビジネス

企業とNPOの協働

NPOよろず支援員に
ご相談ください。

お問い合わせTEL.0186-49-8553

NPO等市民活動団体の情報発信を支援します。
お気軽にご連絡ください。IT担当/千葉孝弘



企業の社会貢献活動の調査をし、市民活動団体との協働を提案・推進しています。CSR担当/羽澤可奈子

地域の課題を地域住民が主体となってビジネスの手法を活用して解決していく支援をしています。CB担当/浅利博樹

早くも震災から間もなく3ヶ月を迎えます。被災地では復旧から復興に向けて動き出しているところもある一方で、先の見えない避難所暮らしも続いており、同じ被災地でも状況の違いが広がってきています。そうした差は、今後更に拡大していくと考えられますので、より多様なニーズにあった支援が求められます。

被災者の何か役に立ちたいと思っても、誰もが現地でボランティア活動をできるわけではありません。今回は、被災地に行かずともできるボランティア活動を考えてみたいと思います。

募金をする

被災された方々への直接的な経済支援の一つは、日本赤十字社や自治体などの窓口で義援金として寄付することですが、東日本大震災のように被害が広域に及ぶ場合には、被災自治体が配分委員会をつくり、全て公平に現金を振り分けるには時間がかかり、支援の思いは直ぐに被災者には届きません。

一方、NPOやNGOは行政の支援が届かないところに発災直後から被災者支援活動をしています。ここに活動支援金を寄付することで、継続的に被災者支援を行うことができますし、被災地の実情にあった柔軟な支援が可能となります(国の認定を受けたNPOへの寄付は税制優遇もあります)。ただ、寄付金サギといった社会問題も発生していますので、寄付先とそこの活動内容は自身でよく調べることが重要です。初めてよく分からない方は、例えば東日本大震災支援全国ネットワーク (<http://www.jpn-civil.net/>) やジャパン・プラットフォーム (<http://www.japanplatform.org/>) のホームページをご覧になってみてはいかがでしょうか。



渡辺千明さん

秋田県立大学木材高度加工研究所准教授。地域防災学専門。地域資源を活用したまちづくり・民家の工法と生活文化・中山間地域における地域社会の防災力・災害ボランティアの研究を行っています。

義援金と支援金の取り扱いは異なります。税制上の扱い等についてまとめた電子版ブックレット「NPOのための義援金・支援金の会計・税務」(発行/NPO法人 NPO会計税務専門家ネットワーク) をご覧ください。(<http://blog.canpan.info/waki/archive/520>)



嫁見祭り(能代市)の際、有志による「福島元気応援隊」が会津若松市の特産品を販売



被災地の産直品を購入する

連休中には、上野や大宮駅で原発の風評被害で、出荷が激減している福島・茨城・栃木県などの野菜や加工品を販売する「応援産直市」が開催されました。能代市でも、5月16日に日吉神社で開催された嫁見祭りで、有志による「福島元気応援隊」が会津若松市の特産品を販売しました。被災地域の食品や農産物を販売するインターネットサイトも立ち上がってきています。こうした機会を使って新鮮な野菜や美味しい特産品を購入することは、支援する側も楽しみながら続けられるのではないのでしょうか。お得意様として長く被災地と繋がることも、被災地の生産者や関係者の方々にとっては生活再建への励みになると考えます。

県内避難者へ支援をする

5月17日現在、秋田県には福島・宮城・岩手県から1,681人の方々が県内各地の避難所や宿泊施設等に避難しておられます。皆さんの地域にも何人かはいらっしゃるのではないのでしょうか。県や市町村が受け入れ窓口となってはいますが、秋田で気持ちよく、少しでも楽しく過ごしていただくには地域の方々の協力が欠かせません。秋田に避難してよかったと思ってもらえるよう、行政では手の届かない生活用品の手配や困りごとの相談、生活情報の提供、お祭りなどの地域行事へのお誘いなど、自治会や地域の団体が行政と連携して、きめ細かなサポートを続けることが重要です。

情報あらかると

イベント情報

秋田市

2011 あきた がん ささえ愛の日 市民公開シンポジウム

【日時】6月18日(土)10:30~12:00

【会場】アルヴェ(秋田駅東口)

【内容】「最期まで自宅で過ごす—自分らしい暮らしをあきらめない—」講師／秋山正子さん(白十字訪問看護ステーション統括所長)

【参加費】無料

【主催】聖路加同窓会秋田県支部

☎日本赤十字秋田看護大学

TEL.018-829-3085(担当／中村)

北秋田市

森吉山ダム 森吉四季美湖誕生 記念植樹 & カヌー体験

【日時】6月26日(日)9:00~

【会場】森吉四季美湖周辺

【内容】開会セレモニー、記念植樹、カヌー体験

【定員】50名(定員になり次第締切)

【参加費】カヌー体験の方のみ300円(保険料含む)

☎申込:森吉四季美湖を守る会(主催)

TEL.0186-75-3850

※秋田県森づくり県民提案事業

能代市

秋田県立大学木材高度加工研究所 平成23年度木材基礎講座 「東日本大震災」

東日本大震災に関連し、これまでに研究所員が行った被災地の現地調査報告を中心に、震災特集として開催。

「第4回 被災地報告(3)一瓦礫の再利用・資源化の可能性について」

【日時】6月20日(月)18:00~19:00

【講師】山内秀文氏

「第5回 被災時の危機管理・支援とボランティア活動などについて」

【日時】6月27日(月)18:00~19:00

【講師】渡辺千明氏

【会場】木材高度加工研究所 研修室(能代市海詠坂)

【参加費】無料

☎秋田県企画振興部 学術国際局学術振興課 TEL.018-860-1223

<http://www.iwt.akita-pu.ac.jp/2011-kiso.2011051056.pdf>

大館市

おおだてラベンダーまつり

【日時】7月2日(土)3日(日)10:00~15:00

【会場】大館市立花(国道7号線サンクス大館川口店から大館方面寄りの手押し信号機の脇道に入る)

【内容】ラベンダー摘み取り(300円)、ラベンダーパプリ講習会(500円)、田園周遊ほか

【主催】立花地域農用地保全活動協議会

☎立花ファーム内

TEL.0186-43-6628(担当／中島)

募集情報

平成23年度文化庁採択事業

日本語支援ボランティア養成講座 「地域における国際化を考える」

~若者・外国人・誰もが活躍できる地域(東北)を目指して~

【日時】6月19日(日)10:00~13:00

【会場】能代市中央公民館(能代市追分町)

【内容】第1回「地域日本語教育とは」講師／野山広氏(国立国語研究所准教授)

【参加費】無料

☎のしろ日本語学習会(主催)

TEL&FAX.0185-54-5600(代表／北川)

☆のしろ日本語学習会は、平成22年11月に内閣府特命担当大臣表彰「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」されました。

「若者自立サポーター」養成講座 受講生募集

社会的ひきこもりやニート、人と話すのが苦手、外出できないなどの悩み・困難を抱える若者についての理解を深

め、若者本人やご家族に対して身近な相談相手となるボランティア活動。

【日時】8月21日、28日、9月4日、25日、10月2日の日曜日13:00~16:00

【会場】大館市中央公民館(大館市桜町)、能代市中央公民館(能代市追分町)

【応募要件】①秋田県内に在住、在勤又は在学する方 ②若者の社会的自立支援に関心があり、積極的かつ継続的な支援が可能な方 ③原則として、全回受講可能な方

【定員】30名

【申込締切】8月12日(金)消印有効

☎秋田県生活環境部県民文化政策課企画・若者育成班TEL.018-860-1552
美の国あきたホーム>教育・文化・交流>男女共同参画・青少年>青少年育成

若松さんの和菓子塾

参加者募集

【日時】6月16日(木)、19日(日)、22日(水)、24日(金)、27日(月)のいずれか希望の日 13:00~15:00

【会場】能代市島町新拠点(能代市島町)

【内容】和菓子職人の若松登美夫さんから本物の「わらび餅」の作り方を習います。

【定員】各14名(先着順、定員になり次第締切)

【参加費】1,000円

☎申込:能代市中心市街地活性化室(主催) TEL.0185-89-1414

☆島町新拠点は、中心市街地活性化めざし、無料休憩所・フリースペースとして市民に広く利用されています。

被災地支援ボランティア登録者募集中

東日本大震災の被災地を支援するボランティアを募集し、県内と被災地を往復するボランティアバスを運行。

ご協力いただける方は、被災地支援ボランティアへの登録をお願いします。

【活動場所】岩手・宮城県内の沿岸被災地の予定

【活動内容】(例)被災した家屋の清掃、民家の敷地内のがれきの撤去、引越し

の手伝いなど。

【運行期間】5月から10月まで、土・日・祝日及び夏休み期間（日帰り、または1泊2日）

【費用】バス代とボランティア保険料は、県が全額助成※食事・飲物や軍手・長靴などの装備品は各自で用意。

☎社会福祉法人秋田県社会福祉協議会
【秋田県災害支援ボランティアセンター】 TEL.018-866-0114
<http://www.akitakenshakyu.or.jp/akitakenshakyu/>

「地域防災」事業

「アクティブ・シニア」事業

実施団体を募集

以下の事業に取り組む市民活動団体や自治会等を応援します。

「地域で防災チェック&アクション!」事業(男女共同参画の視点から地域防災を考えた企画・提案・実施)

「アクティブ・シニアへ変身応援!」事業(男女共同参画の視点からシニア世代の生活を考えた企画・提案・実施)

【支援内容】北部男女共同参画センターが、費用の負担、コーディネーターや講師の手配、報告書等の事務手続きを補助します。

【応募方法】各事業応募用紙に記入のうえ、下記まで提出してください。

【応募締切】7月15日(金)※応募多数の場合は調整いたします。

☎申込:北部男女共同参画センター
TEL.0186-49-8552

60歳からのパソコン講座

受講生募集

【日時】6月22日(水)、24日(金)、27日(月)、29日(水)、7月1日(金)

【対象】おおむね60歳以上の初心者限定。全5回参加できる方

【定員】6名(先着順。応募多数の場合は、午後のクラスも予定あり)

【参加費】2,500円(テキスト代5回×500円、初回受付)

【応募締切】6月17日(金)

☎申込:北部男女共同参画センター
TEL.0186-49-8552

助成金情報

元気なふるさと秋田づくり活動支援補助金

「元気あきた資金」

【助成対象】県民や地域の自主・自立した地域づくりに関する取り組みや活動
①イベント等開催支援/地域資源を活用して、地域課題の解消や、地域を元気にするような新たなイベントの立ち上げ
②講演会・学習会等開催支援/地域のあり方を考えるための学習会など

【助成金額】①限度額600,000円(補助対象経費の1/3以内)※男女の出会いに関するイベントは1/2以内 ②限度額200,000円(補助対象経費の4/5以内)

【申請期間】平成23年8月1日(月)~8月31日(水)

☎鹿角地域振興局地域企画課
TEL.0186-22-0456
北秋田地域振興局地域企画課
TEL.0186-62-1251

山本地域振興局地域企画課
TEL.0185-52-6285

財団法人JKA

Ring!Ring!プロジェクト

東日本大震災復興支援補助

【助成対象】特定非営利活動法人(NPO法人)、学校法人、社会福祉法人、更生保護法人、財団法人、社団法人、その他公共的な団体。支援対象は①被災地域および被災者受入地域における支援拠点づくり活動 ②被災者に対するカウンセリング(教育を含む)や被災地域の記録、実態調査活動

【助成金額】300万円以内/1団体(補助率1/1)予算総額:1億円

【申込期間】補助金交付決定金額が予算総額に達するまで(締め切った際には、「Ring!Ring!プロジェクト」ホームページにおいて告知)

☎財団法人JKA 補助事業グループ
公益・福祉振興チーム 復興支援担当
TEL.03-3512-1276,8
http://ringring-keirin.jp/shinsei/shikata/yoryo/koueki/h23_fukkosien.html

お知らせ

「あきた協働ウィーク」開催のご案内

【事業目的】県民のNPO活動やボランティア活動などの多様な社会活動への理解と参加促進、協働のきっかけづくりを目的とします。

【イベント開催】期間中の土日に、中核となるイベントを開催します。

◇日時
平成23年11月19日(土)、20日(日)

◇会場
アルヴェ、ぼぼろーど(秋田市)

◇予定内容
●NPO等の団体、社会貢献活動を行っている企業、CB事業者等のブース設置による活動PRと物販 ●トークアンドライブ ●シンポジウ

ム:協働についての集団討議 ●ステージ発表(音楽演奏、合唱、ダンス、太鼓、ヨサコイなど) ●協働事業プレゼン大会(NPOやCB起業者等が事業展開をプレゼンし、企業、行政等が協働の可能性を探る) ●NPO相談会※内容は、今後、若干の変更があるかもしれません。

★今後、県が「あきた協働ウィーク」に参加していただける団体を募集する予定です。

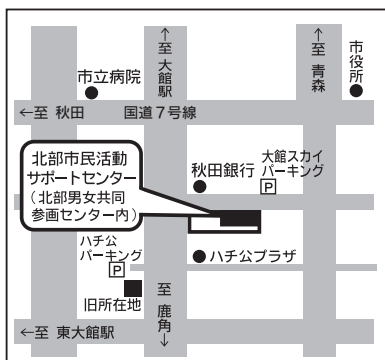
☎地域活力創造課 県民協働・県民運動推進班
TEL.018-860-1245

6/15水	・がんサロン（大館市立総合病院）13:00～16:00	30木	・みんなの茶の間（上小阿仁村・旧小沢田小学校）10:00～15:00
16木	・みんなの茶の間（上小阿仁村・旧小沢田小学校）10:00～15:00	7/1金	・サロンあんず（北秋田市交流センター）11:00～14:00 ・ほっとサロン（山本地域振興局県民交流サロン）13:30～15:30
17金	・サロンあんず（北秋田市交流センター）11:00～14:00	2+	【おおだてラベンダーまつり】（P.6） ・ふれあいサロン（鹿角市十和田）9:30～11:30
18+	【2011 がん ささえ愛の日】（P.6） ・ふれあいサロン（鹿角市花輪）9:30～11:30	3日	4月
19日	20月	5火	・コーヒーサロンよってたもれ（藤里町三世代交流館）13:30～16:00
	【木材基礎講座】（P.6） ・陽だまりの会「らべんだー」（高齢者多目的集会施設「はつらつ苑」）13:30～15:30	6水	7木
21火	・コーヒーサロンよってたもれ（藤里町三世代交流館）13:30～16:00		・みんなの茶の間（上小阿仁村・旧小沢田小学校）10:00～15:00
22水		8金	・ふれあいサロン（鹿角市花輪）9:30～11:30
23木	・みんなの茶の間（上小阿仁村・旧小沢田小学校）10:00～15:00 ・おしゃべりサロン「縁側で日なたぼっこ」（三種町八竜農村環境改善センター）13:30～15:30	9+	
24金	・サロンあんず（北秋田市交流センター）11:00～14:00	10日	
25+	26日	11月	・ほっとサロン（ニツ井公民館）9:00～12:00
	【記念植樹 & カヌー体験】（P.6）	12火	・陽だまりの会「レーがる」（八峰町文化交流センター「ファガス」）13:30～15:30 ・コーヒーサロンよってたもれ（藤里町三世代交流館）13:30～16:00
27月	【木材基礎講座】（P.6）	13水	14木
28火	・ふれあいサロン（鹿角市花輪）9:30～11:30 ・コーヒーサロンよってたもれ（藤里町三世代交流館）13:30～16:00		・みんなの茶の間（上小阿仁村・旧小沢田小学校）10:00～15:00
29水			

- 【三種町】おしゃべりサロン「縁側で日なたぼっこ」（八竜どうもの会） ☎三種町保健センターTEL.0185-83-5555
- 【能代地区・ニツ井地区】ほっとサロン（サポートグループふれあいのW A） ☎能代市保健センターTEL.0185-58-2838
- 【花輪地区・十和田地区】ふれあいサロン ☎鹿角市健康推進課 健康増進班 TEL.0186-30-0119
- 【八森地区・峰浜地区】陽だまりの会「レーがる」「らべんだー」 ☎八峰町福祉保健課 TEL.0185-76-4608
- 【北秋田市】サロン「あんず」（精神保健福祉ボランティア「れもんの会」） ☎TEL.090-3645-6520（代表/小坂和子）
- 【上小阿仁村】みんなの茶の間 ☎上小阿仁村保健センターTEL.0186-77-3008
- 【藤里町】コーヒーサロン「よってたもれ」（心といのちを考える会） ☎事務局TEL.0185-79-1522
- 【大館市】がんサロン（大館地区がん患者友の会「大館虹の会」） ☎TEL.0186-42-4388（代表/土門明夫）

7月号で紹介予定

秋田県の市民活動団体の情報が満載！秋田県市民活動情報ネット <http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>



《編集後記》
 緑豊かな季節となりました。ご紹介したグリーン・ツーリズムを楽しむのに最適です！たまにはのんびりと地域の食や自然を満喫してみてください。（あお）



『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという想いが込められています。

平成23年6月10日発行
 発行：秋田県企画振興部地域活力創造課
 〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1
 TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3873
 編集：北部市民活動サポートセンター
 〒017-0842 秋田県大館市字馬喰町48-1
 TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
 E-mail an gec1@io.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。○この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり23.3円です。